

のぼこども つうしん 通信

発行：社会福祉法人 和枝福祉会
のぼこども家庭支援センター
横浜市港南区野庭町631
発行責任者：高橋 智一

平成29年7月 第12号

のぼこども家庭支援センターは18歳未満の児童に関する相談を受ける児童福祉法第44条の2で規定されている児童家庭支援センターです。

12か月

昨年7月、のぼこども通信第8号で「こどもの貧困」についてふれさせていただきました。今回の記事を書くのに昨年の記事を振り返ると、もう1年経ってしまったのだ、と率直に驚きました。「こどもの貧困」につての報道等は以前に比べて少なくなって来たように感じています。先月、横浜で勤労者の福祉活動を展開する団体が開いた研究集会の記事を目にしました。そこには、子どもの6人に1人が貧困状態にある、周囲にいる人が貧困問題に対する感度を持つ必要があるという趣旨が記されていました。引き続き当センターも子どもとその置かれた環境を正しく理解し、経験等の機会を提供することで、子ども達の暮らしがより豊かになるよう取り組んでいきたいと思ひます。 のぼこども家庭支援センター長

のぼこども地域交流事業



4月20日(土)に「みんなのひろば」を開催しました。当日はこども14人、保護者14人の12組の参加者があり、子ども達は広いスペースで元気いっぱいプラレール、ボールプール、おもちゃで遊びました。中でも新しい積み木「KAPLA」では、保護者の方も真剣に積み木を高く積み上げ、最後にこどもたちが豪快に崩して楽しんでいました。また次回の参加をお待ちしています。

次回イベント情報

7月は親子ふれあい遊び「ふうりんを作ろう」です。親子でペットボトルに絵やシールを貼ってふうりんを作ります。

日時 7月15日(土) 10:00~11:30

定員 15名

事前申込 045-840-5092



のぼこども日記

子育て短期支援事業の様子を紹介(*_*^*)

新しくKAPLAブロックを購入しました。KAPLAはワンサイズの板を積み重ねるだけで色々作れるフランス生まれの木製ブロックです。センターに来ている小学生には人気があり、バランスが難しい凝った作品に挑戦したり、天井まで高く積み上げることに夢中になったりと楽しみ方はさまざま。日本では13m15cmまで高く積み重ねた最高記録があるとか。崩れる時には木の良い音がするのですが、崩れる音の大きさに驚いた声の方が大きかったりと作ってから崩すまで楽しさがいっぱいです。大人の方が集中して作りたくなってしまふような魅力のある積み木です。1000ピースのパーツを全部使って作るには根気と集中が必要です。次に何が完成するのか楽しみです。



職員紹介

新しい仲間が増えました☆



* はじめまして相談員の古川です。
* こどもからも大人からも
* 気がねなく何でも話して
* もらえる雰囲気です。
* よろしくお願ひいたします。*

* 地域担当の荒井です。
* たくさんの方々とお会いして、
* 地域の「つながり」を大切にしたい
* 活動を行っていききたいと思ひます。*



心あたたまる絵本の紹介



パンダ銭湯
作・絵 / tupera tupera
絵本館 2013年8月

パンダしか入れないパンダ銭湯。身体を綺麗にしたいパンダが続々と訪れます。そこにはパンダの衝撃の事実が！パンダの秘密を知る驚きはもちろん、銭湯の中にあるパンダにちなんだ様々なものを見つける楽しさもあり、大人も思わず笑ってしまう絵本です。

のぼこども家庭支援センター
☎045-840-5092



◆子ども本人及び子育て家庭の相談・支援◆
月曜日から土曜日まで(祝日、年末年始除く)
受付時間：9時~17時

